



城だより

第676号

日本古城友の会・会報 令和7年(2025)4月6日発行

播磨 端谷城を訪ねる(5月・第739回例会)

日 時：令和7年5月11日 現地集合 雨天決行

集 合：神戸市営地下鉄(西神・山手線)西神中央駅 改札出て右側のタクシー乗り場
10:30 集合・受付

行 程：西神中央駅⇒タクシー10分⇒寺谷バス停付近⇒徒歩5分⇒満願寺(三の曲輪)⇒
端谷城(二の曲輪・一の曲輪)(昼食)⇒徒歩5分⇒寺谷バス停付近⇒タクシー5分
⇒池谷城跡⇒徒歩10分⇒^{はぎたに}櫛谷中央バス停⇒西神中央駅バス停(1つ目)
*タクシーは相乗りとなり、同乗者同士で料金を支払ってください。

アクセス：往路 JR大阪駅(9:00発 新快速 姫路行)⇒三ノ宮駅(9:22着)

神戸市営地下鉄三宮駅(9:53発)⇒西神中央駅(10:25着)

*大阪(梅田)から阪急・阪神を使って三宮に行けます。

阪急 大阪梅田駅(9:00発 新開地行特急)⇒神戸三宮駅(9:27着)

阪神 大阪梅田駅(9:00発 須磨浦公園行特急)神戸三宮(9:31着)

*神戸市営地下鉄三宮駅はJR・阪急・阪神も三ノ宮駅から距離がありますので注意
して下さい。また、くれぐれも西神・山手線に乗って終点の西神中央駅で降りて
ください。三宮駅から西神中央駅行きが4分~7分間隔で出ています。

復路 櫛谷中央バス停に15:20又は15:50には着きたいと思います。

担当幹事：坂本 昇・宮島 茂

持 ち 物：弁当・飲物・敷物・帽子・ハイキング靴・ステッキ・タオル・雨具を持参し、マス
ク着用は各自の判断でお願いします。※西神中央駅にコンビニが2軒あります。

参 加 費：賛助会員・正会員800円、通信会員・当日参加者1000円

問 合 せ：坂本 昇

(開催は新型コロナ感染状況によります。必ずホームページを確認の上ご参加ください。)

【今回の見どころ】

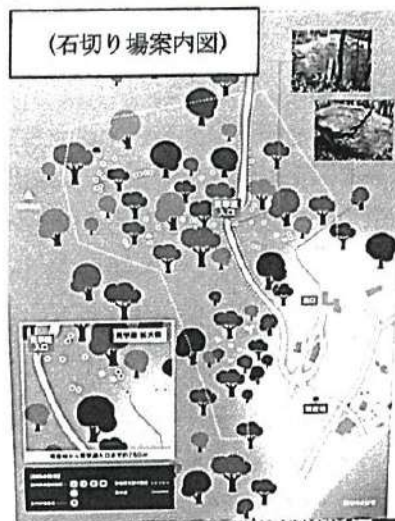
神戸市西区にある衣笠氏の居城です。比高が40m程なのできつくはありません。城址は発掘
調査がされて整備されていますので大変見学しやすい状態です。見どころは何といても、曲
輪を半周以上囲む堀切でしょう。堀切には深さがあり急勾配のため降りられませんが、上から

ある。建物内には信長・秀吉・家康らがその当時の領地を認めた朱印状など塩飽水軍に関わる資料が展示されている。このあと、国指定の年寄宮本家の墓や年寄入江四郎左衛門の墓などを見て回り、民宿に行って一泊した。

翌日は民宿の人の案内で高無坊山^{たかんぼうやま}の登山口まで案内してもらった。八合目付近に石切り場があった。岩質は花崗岩である。矢穴のある残石があった（写真 10）。麓に戻って

「塩飽本島高無坊山石切丁場跡」の谷沿いにある見学路を散策した。

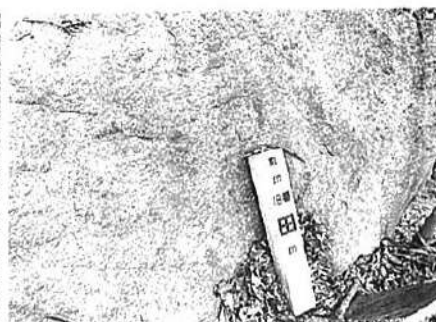
案内説明板には次のように書かれていた。「高無坊山（標高 199.4m）の西側一帯は石垣に使用する石材を切り出した採石場の跡が残っています。採石場のことを石切丁場と呼び、この石切丁場は、徳川幕府による大坂城の再築に際して、豊前小倉藩細川家が採石を行った場所であることがわかっています。山中には石を割るためにノミで掘られた矢穴が残る石材、矢で割られた痕のある岩盤や石材、石クズなどが残っています。加工された石材の中には、刻印と呼ばれる印があるものが見られます。刻印の種類は「井・田・△・✦・⊙・丸・十」などが確認されています。これらの多くは、谷筋や尾根筋に同じ刻印の石材グループになり分布しているという特徴があります。刻印の種類は、採石を行った作業の組を表していると推察され、細川家の採石に携わった組が使っていた印と合致しています。高無坊山石切丁場跡は大坂城の石切丁場として当時の採掘状況をうかがい知ることのできる貴重な文化財として、平成27年に市指定史跡に指定されました。この看板の場所は、「井・田・△・✦・⊙・丸・十」などの印が刻まれた石材が残っている場所で、地図には刻印のある石材の位置が示されています。」



案内説明板を見ると刻印石は見学路から外れたところに点在しており、再度見学するにはかなり時間を要することと思いきらめて港の方に戻った。事前に弁当を予約しておいた場所に弁当を取りに行き、港に着くと定期船が待っていた。すぐ乗船して、しばらくすると出港した。船旅でゆっくり弁当を堪能するのも



(矢穴のある残石 (写真 10))



(刻印石)

いい気分である。丸亀港に着き、歩いてJR丸亀駅に着くと、神戸行き的高速バスが停車していた。予定のバス発車時間より1本早かったため、窓口で変更してもらおうとしたが、窓口が閉鎖されていたので、そのままバスに乗り、バス内で変更してもらった。もし往復切符を購入していなければ戸惑って時間を要し、このバスに乗れなかったかもしれないと思った。よって予定帰宅時間より早く帰宅出来た。水軍（海賊）の城跡見学と石切丁場が見学できたことは良かったと思う。私にとって水軍（海賊）の城跡見学がこれをきっかけに始まっていくような予感がする。

(完)

下記にアクセスすると YouTube で塩飽本島高無坊山石切場調査報告会の映像が見られます。

sanuki.tv | 塩飽本島高無坊山石切丁場跡調査報告会 (kagawa.com)

日本古城友の会

会長 中西 徹

事務局 事務局長 平川 大輔

HP アドレス <https://www.kojyo-tomonokai.com/>

編集・発行 編集部長 下岡 力